

■ 80 間

- 集団分析（詳細版）：80 ページ前後です。PDF データにて納品します。

サンプル株式会社 御中
<p style="text-align: center;"><b>新職業性ストレス簡易調査票</b> <b>(80問)</b></p> <p style="text-align: center;"><b>集団分析（詳細版）</b></p> <p style="text-align: center;">20XX年YY月 株式会社フィスマック</p>

目次

1. 紹介	1
2. 実験概要	3
3. データ収集と分析	4
4. 実験結果と考察	5
4.1. 全体の実験結果	5
4.1.1. 会員登録時の年齢	5
(1) 10歳未満	0
(2) 10歳以上未満 (10歳～16歳)	0
(3) 16歳以上未満 (16歳～25歳)	10
(4) 25歳以上未満 (25歳～34歳)	10
(5) 35歳以上未満 (35歳～44歳)	10
(6) 45歳以上未満 (45歳～54歳)	11
(7) 55歳以上未満 (55歳～64歳)	11
(8) 65歳以上未満 (65歳～74歳)	11
(9) 75歳以上未満 (75歳～84歳)	11
(10) 85歳以上未満 (85歳～94歳)	17
4.1.2. 性別	13
4.1.3. 会員登録時の性別 (性別のみと回答)	14
(1) 男性	14
(2) 女性	16
(3) その他 (性別不明)	16
(4) 性別不詳 (性別不明)	17
(5) いわゆるフリガナ	18
(6) いわゆるカタカナ	18
(7) 他の性別 (ハーフなど)	19
(8) 性別の複数 (ハーフ以上もカタカナも)	19
(9) 性別の複数 (ハーフ以上もカタカナも)	19
(10) 性別の複数 (ハーフ以上もカタカナも)	20
(11) 性別の複数 (ハーフ以上もカタカナも)	21
(12) 性別の複数 (ハーフ以上もカタカナも)	22
(13) 性別の複数 (ハーフ以上もカタカナも)	22
(14) 性別の複数 (ハーフ以上もカタカナも)	22
(15) 性別の複数 (ハーフ以上もカタカナも)	23

1. 個別

## 1.3. 機能性ストレス調査 (57題) 分析

### 1.3. 全国平均との比較

「全国平均」とは、弊社で2016年に実施した約50万のデータから算出した値です。

▲は全国平均と比べて、「やや高い」、▲<は「やや低い」を示す人の割合が多いです。

▼は全国平均と比べて、「やや低い」、「やや低いと判断された人の割合が多い」とことを示します。

#### (A) ストレスの原因と考えられる因子

サンプル式会員の回答を全国平均と比べて見ます。次のような違いが見られました。(p.27 参照)

- 「現状の収入額」は、会員平均と比べて、「やや低い」と判断された人の割合が少くなりました。全体: 11.0% (やや低い: 15.8% 増)、会員平均: 20.1% (やや高い: 15.1% 減)、▲
- 「現状の収入額」は、会員平均と比べて、「やや高い」と判断された人の割合が少くなりました。全体: 29.0% (やや高い: 24.7% 減)、会員平均: 29.3% (やや高い: 11.2% 減)、▼
- 「現状の収入額」は、会員平均と比べて、「やや高い」と判断された人の割合が多くなりました。全体: 34.8% (やや高い: 34.1% 増)、会員平均: 25.2% (やや低い: +17.8% 増)、▼
- 「仕事・コツコツ」は、会員平均と比べて、「やや高い」と判断された人の割合が多くなりました。全体: 10.5% (やや高い: 10.4% 増)、会員平均: 16.1% (やや高い: 5.9% 増)、▼
- 「現状の収入額」は、会員平均と比べて、「やや高い」、「やや低い」と判断された人の割合が多くなりました。会員: 24.0% (やや高い: 14.8% 増)、会員平均: 20.1% (やや低い: -4.8% 減)、▼
- 「現状の収入額」は、会員平均と比べて、「やや低い」、「やや低いと判断された人の割合が少くなりました。全体: 13.9% (やや低い: +11.6% 増)、会員平均: 16.3% (やや高い: +5.1% 減)、▼
- 「現状の収入額」は、会員平均と比べて、「やや低い」と判断された人の割合が少になりました。会員: 21% (やや高い: 13.7% 增)、会員平均: 21.3% (やや低い: 11.2% 減)、▲

**1. 実践**

## 1.4. いきいきプロフィール

○ 全体の「ワーク・エンゲージメント」は、全国と比べて「-0.1」と、悪い結果となりました。

○ 全体の「職場のワーク」は、全国と比べて「+0.1」と、良い結果となりました。

ワーク・エンゲージメントは、仕事に対する満足度や、仕事に対する意欲を示す指標です。この指標が低いほど、仕事に対する満足度や意欲が低いことを示します。一方で、職場のワーク・エンゲージメントは、職場環境に対する満足度や、職場環境に対する意欲を示す指標です。この指標が高いほど、職場環境に対する満足度や意欲が高いことを示します。

「いきいき分析結果」は、個人の職場の「いきいきの状況」を確認できます。この状況は、この人の職場と異なる社会の平均と比較する指標で、「1」ほど低い（悪い）、「3」ほど高い（良い）、「5」ほど中間（中程度）である場合が多いです。また、職場の「いきいき度」は、「1」ほど低い（悪い）、「3」ほど高い（良い）、「5」ほど中間（中程度）である場合が多いです。

いきいき度の範囲

人間	ワーク・エンゲージメント	職場のいきいき度
全国	3.52	3.66
北海道	2.93	2.27
東京	2.55	2.48

【各項目は低くなるほど、高いことを意味します】

4. (C) ストレス反応に影響を与える因子 (57 問回答)

**4.1. 5段階評定の分布と人数 (全国平均と全体の比較)**

全国平均との比較

項目	0.0%	20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	100.0%
1. 上記からどのサポート(会員)	7.2%	61.6%	20.0%	11.8%	0.0%	0.0%
2. 上記からどのサポート(会員)	12.8%	28.8%	32.0%	20.0%	0.0%	1.2%
3. 関係からどのサポート	1.8%	34.1%	31.7%	21.1%	11.8%	0.0%
4. 関係からどのサポート(会員)	1.0%	14.2%	31.8%	33.8%	10.8%	0.0%
5. 働く人のためのサポート(会員)	0.0%	2.5%	33.2%	34.9%	22.0%	0.0%
6. 働く人のためのサポート(会員)	0.0%	21.8%	23.9%	37.0%	14.2%	3.8%
7. 日常生活のためのサポート(会員)	5.1%	22.3%	34.2%	35.2%	0.0%	0.0%
8. 日常生活のためのサポート(会員)	16.2%	34.9%	35.3%	11.3%	4.8%	0.0%

← 1. 0% 2. 20% 3. 40% 4. 60% 5. 80% 6. 100% →

※「会員」は、認証された会員数です。  
※「会員」欄中の「不登録」のデータは4件表示していません。

3. 仕事のストレス測定と健康チェック (ST検討会)

(仕事のストレスと健康問題 (年次別))  
1. 健康の状態 (年次別)

3. 健康の状態 (年次別)

Sample

7. 月次会の企画準備

### 7.1. 月次ごとの得点の偏倚の考え方

月次ごとの最高得点の得点が日別平均に従うと仮定し標準化することで、標準化の得点が企画の上部または下部に集中する状況を観察することができます。

下図のように、標準化の平均値は 10 とすると、得点値 6.0 以上になる割合は企画の上部の 16%、得点値 4.0 未満の割合は 36.0% で月次 16 回の合計で 5.76 と計算されます。

正規分布曲線

得点値 6.0 以上

得点値 4.0 未満

平均 = 10  
標準偏差 = 2.83

- 集団分析（所属別）：1部署1冊 全9ページです。

- 集団分析一覧：3つのシートに分かれています。エクセルデータにて納品します。

